

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年3月2日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年3月2日		～ 令和8年3月14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月2日		～ 令和8年3月2日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	7	(回答数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年3月19日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童発達支援センターの永年の経験による具体的支援に関するプログラムやメソッドを有する点。	実際の保育場面を観察し、対象児の認知特性に合わせた工夫についてサジェスションを行う。	
2	認定心理士、臨床心理士、理学療法士、障害児専門保育士による心理分析、動作分析、行動分析。	実際の保育および教育場面を観察し、観察時の対象児の言動を心理的、動作的に評価した内容について、現場職員にサジェスションしたり、必要に応じ保護者にもお伝えする。	

3	保育、教育および養育場面で気になる言動に関する相談への対応。	観察時以外の保育、教育場面や家庭生活場面でのエピソードから寄せられる相談に応える。	ケースの状態によっては、心理治療や機能訓練等を要する場合も考えられ、児童家庭支援センターやクリニック等との連携構築が課題。
---	--------------------------------	---	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	幼稚園・保育園・こども園からは専門職の派遣を喜んで迎えていただくことが多いが、小学校をはじめとする教育機関には学校の要請に応じて専門家を派遣する既存の制度があり、保護者の要請に応じて専門職を派遣する本制度には難色を示されることがある。	北九州市就学前地域支援情報交換会を通じて保育分野および初等教育分野の関係者に周知を図っているところではあるが、なかなか浸透しない。	現在、学校には理学療法士を中心に派遣しているが、少しずつ実績を積みながら地域の信頼を勝ち得ていきたい。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名 光の子学園

公表日 令和8年 3月 25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点
環境・ 体制・ 整備・ 運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	○		基本、訪問先の教員教材を使用しており、訪問支援員が持ち込むことはない。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		評価票はもとより、日常的に連絡帳や電話でやり取りしながら保護者の意向確認に努めている。	
	5	従業員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		原則、毎回の訪問時に訪問先従業者との懇談機会を設け、意見等を把握し業務改善に努めている。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	△		内部でケース検討を行い、研修機会としているが、外部に保育所等訪問に特化した研修が乏しいため外部研修は実施できていない。	
適切な 支援の 提供	8	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	○		児童発達支援管理責任者および管理者のチェックの下、適切に作成している。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○			
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	○			
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	12	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○			
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		殆どが訪問支援員一人での訪問であり、報告は児発管および管理者に行っている。	
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	○			
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○				
19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		訪問会毎に保護者及び訪問先事業所の意向確認を行っている。		

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○			
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		市内就学前地域支援情報交換会（市障害主管課、児相、市教育相談主管課、市内児童発達支援センター）に参加し、情報共有及び連携に努めている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○			
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。		○		令和8年度よりインクルージョンに関する大学の専門家をスーパーバイザーとして、適宜訪問に同行してもらい研修機会を設けることとしている。
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	○		市内就学前地域支援情報交換会（市障害主管課、児相、市教育相談主管課、市内児童発達支援センター）に参加し、情報共有及び連携に努めている。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		日常的に連絡帳や電話でやり取りしながら共通理解を図っている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	行っていない。	
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に重要事項説明の中で運営規程に関連する項目、利用者負担等について丁寧に説明している。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	○			
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○			
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	○			
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	○			
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	保育所等訪問支援事業利用保護者による父母の会は組織していない。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○			
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。		○		
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○				
訪問先施設への	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	○			
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	○			
	39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	○		連絡帳と電話および面談により行っている。	

説明等	40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	○			
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		訪問時は訪問先管理下にあるため、独自には設定しておらず、訪問先のマニュアルに基づく指示に従うこととしている。	
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○			
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○			
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		北九州市障害児童連盟の虐待防止研修に参加。	
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		管理運営規程に記載し職員に周知している。	

公表

保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援センター 光の子学園

公表日 令和8年 3月 25日

利用児童数 令和8年 3月 1日 8名

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	2	2		2	教具教材は実際に見ていないので分かりません。	訪問先(保育所・幼稚園)の教具教材を使います。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	6				面談時は個室で、子どもは他の先生に看てもらっていたのでゆっくり話すことが出来ました。	
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	6				時間を掛けて説明してもらえました。	
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	6					
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思えますか。	6				必要な人数だと思います。	
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	6				子どもの様子をしっかりと観てくれて、それに合わせた支援をいただけていると思っています。	
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	6					
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	5			1	私の知識が分かりません。	保護者の意向、訪問先担任の意向を調整して支援計画に反映するよう努めています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5			1	ガイドラインを理解していないので分かりませんでした。	
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	6					
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	5			1	もちろん配慮はしてくださっていると思いますが、実際の支援を見たことがないのでわかりません。	
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	6					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	4	1		1		
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	6				必要時は電話をくださり、様子などを細かく話してくれるので、分かりやすく安心です。	
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	6				電話や連絡帳などで細かくやり取りができています。	
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6				不安なことなどはきちんと聞いてくれて、思ったことを丁寧に伝えてくださっています。	
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	6					
	19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	6				連絡帳でのやり取りが主ですが、様子や先生とのやり取りが細かく記載されています。	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	6						

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	6			担任の先生から“こういうアドバイスがあったので、○○していこうと思いません”等、伝えてくれることがあります。	訪問事業先との協働・連携は大切に行っていることの一つです。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	6			連絡帳に様子が沢山書かれているので、本人がどのように過ごしているか知れるので嬉しいです。	
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	3	1	2		
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			保育所に対し、こちら側から言いにくいことは配慮しながら対応していただけているので、相談しやすく感じています。	保護者と園との調整役も担っています。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	3		3		
満足度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6				
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	6			先生の名前はまだ言えませんが、顔見知りになったことで本人の安心に繋がっていると思っています。	
	28	事業所の支援に満足していますか。	6			満足しています。	

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

令和8年 3月 25日

利用児童数

令和8年 3月 1日 8名 回収数 7

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	7			<p>○説明は具体的でとてもよく理解出来ました。取り入れやすいものも沢山ありましたが、クラスを運営していく中で取り入れにくい状況もありましたので、職員と状況を共有しながら進めていきました。</p> <p>○毎回頂いた助言を基に子どもたちへの関わりを行っています。着眼点や配慮の方法等について大変参考になっています。</p> <p>○来所いただいた時の困り事をお伝えすることで、そこを中心に場面による関わりや、現時点での取り組みを教えてくださいました。</p>	

2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	7			<p>○色々な方面の視点で、話をさせていただきました。</p> <p>○的確な意見をいただき、大変勉強になります。</p> <p>○上記同様、なぜその行動が行われたかなども例を挙げ教えてくださった。</p>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	7			<p>○よく対応していただきました。</p> <p>○とてもわかりやすく、丁寧に回答して頂いています。保育の中にすぐに取り入れやすいので有り難い限りです。</p> <p>○保育中のアドバイスはピンポイントでしていただけないこともあるが、質問に対する関わりを実際に見せてくださることもあった。</p>
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	6	1		<p>○とても参考になりました。</p> <p>○毎回色々な質問をさせて頂いて、丁寧に回答頂けていますので解消しています。</p> <p>○こちら側の理解度や力量などにより、活用し切れていないことがあった。また後半は、人手不足で直接話す時間がとれなかった。</p>
5	事業所からの支援に満足していますか。	7			<p>○沢山の助言がありましたので、視野を広げる意味でとても参考になりました。</p> <p>○大変満足しています。今後もどうぞ指導の程、宜しくお願い致します。</p> <p>○保育現場では保育士の質の低下、育成不足などに直面している。外部からの支援は本当に有り難い。</p>

<p style="text-align: center;">その他のご意見</p>	<p style="text-align: center;">ご意見を踏まえた対応</p>
<p>○お互いのスケジュール管理表のような物があると、他園との兼ね合いももう少しスムーズに計画が立てられるのではないかと思います。メールでやり取りするなど含めて検討いただけると何度もお電話をいただくことがなくなるのではないのでしょうか。いつも申し訳なく思っています。</p> <p>○困ったり、悩んだりすることに対して、アドバイスを頂け、助かっています。ありがとうございます。</p> <p>○いつも子どもの姿を専門的な視点から分かりやすい助言をいただき、日々の保育で活かすことができます。ありがとうございます。</p> <p>○支援対象の子どもにとって分かりやすく、また、クラス運営の中でも取り入れやすい支援を教えてください、ありがとうございます。こちらの困り事や質問にも細かく丁寧に向き合ってくださいありがとうございました。教えていただいた事は、今後も保育に取り入れ続けていきます。引き続きよろしく願いいたします。</p> <p>○毎月定期的に園児についてご指導いただき、ありがとうございます。先生(訪問支援員)が園児に個別について、実際にやってみて今後このようにやってみると良いかもとご助言いただき、先生のその姿を他の職員も見ているので、クラス全体として共通認識、理解でき、有り難かったです。月数回のペースで継続して来て頂けるので、成長も次の課題も見えていただきやすく、困ったことがあっても次回相談しようと感じつつお待ちしていました！！月に1～2回のペースも園行事等に合わせていただけるので、助かりました。いつも的確なご指導に感謝しかありません。今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>○今回、自園では初めての対応でしたので、最初の段階でいきなり“訪問します”と言われ、よく状況が分からないところからのスタートでした。最初の入りのところにもう少し連携がとれると助かるなと感じました。</p>	<p>・保育所等訪問支援事業は、保護者との契約に基づいて行われる支援ですが、専門職員を派遣する児童発達支援センターとしては訪問先の事業所(保育所・幼稚園・こども園)の側にも利のある支援でありたいと努力を重ねて来たところであり、総じて好評価を頂けたことは、支援させていただく側の私たちの励みにもなります。今後も利用対象児、利用保護者、訪問支援先事業所それぞれがWinWinWinになるよう支援に努めて参りたいと思います。</p>